



れんきふ

2023年度活動に向かって

草津市ボランティア連絡協議会

会長 大脇 正美



今年度も引き続き、草津市ボランティア連絡協議会の会長を務めさせていただきます。大脇正美と申します。

令和5年度第37回の総会を開催することができました。

令和4年度はコロナ禍の中でありましたが、予定していましたがグループの会員交流会を開催することができ、会員の皆様と楽しい1日を過ごすことができました。しかしながら、館外研修として新年交流会は、コロナ禍の影響で事業が中止となり、当初の目的を果たすことができませんでした。

本来の会員相互の交流、組織の連携を目的として運営を図ることが此処3年間できなくなり大変申し訳ないと思っております。

令和5年度は、コロナウイルス感染症も5類に位置付けられ行動制限のない社会に戻り、いよいよ活動が再開されることを期待しております。

グループを登録していただいた団体と連携しながら、事業活動を着実に実施していくとともに草津市ボランティア連絡協議会の更なる発展を願う事業活動してまいります。

各種ボランティアグループの皆様におかれましては、コロナ禍前の活動に早く戻り、ボランティア活動を通して、連携・交流を図りながら活動をより広げていくために、ご努力を積みかさねていただければと思います。

今後とも、各種ボランティアグループの皆様のご助言、ご協力を賜り、ボランティア連絡協議会を遂行してまいります所存であります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

部長挨拶

草津市健康福祉部

部長 永池 孝志



ボランティア連絡協議会の皆様方におかれましては、地域の人々が互いに支えあうまちづくりの実現を図るため、日頃

から福祉をはじめとした幅広い分野においてボランティア活動をいただいております。住民同士の絆を深めるとともに、各種団体との交流や会員相互の資質向上に向けた取組を進めていただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、私たちが暮らしております地域社会は、少子高齢化や核家族化等の進展により、隣近所とのつながりが希薄にな

草津市社会福祉協議会

会長 清水 和廣



草津市ボランティア連絡協議会の皆様におかれましては、日頃より草津市社会福祉協議会の事業運営に多大なる御協力と御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

令和2年から新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、わたしたちは未曾有の事態に直面し、社会全体が様々な場面で難しい対応を迫られてまいりました。

種々のボランティア活動につきまして、コロナ禍においてその制限・縮小を余儀無くされ、活動に尽力されていた

方々、そして、活動による支援を必要とされている方々にはたいへん辛い時期であったことと拝察いたしますが、国では新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けを季節性インフルエンザ等と同

るとともに、3年以上にわたり新型コロナウイルス感染症の影響により社会が分断され、地域コミュニティや社会からの孤立といった問題が表面化しています。こうした状況の中では、住み慣れた地域において、誰もが安心して心豊かに生活できるよう「相互に助け合って暮らす」ことを理念とする、「地域共生社会」の実現が求められています。

本市におきましても、ともに支え合い、生涯にわたって健康で幸せを感じられ、笑顔あふれる「健幸都市くさつ」の実現に向け、さらなる取組を進めてまいりますので、今後ともより一層の御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様方の御健勝と草津市ボランティア連絡協議会の益々の御発展を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

じ区分に変更され、社会は大きな節目を迎えております。

わたしたちは、コロナ禍での経験から改めて、社会において様々な困難を抱える人々に寄り添い、支え合うことの意義や重要性を再認識するとともに、時代に応じて複雑化、多様化する様々な福祉課題と正面から向かい合う必要性を感じました。

本会といたしましては、今後もボランティア連絡協議会と密に連携いたしながら、第4次地域福祉活動計画に基づく各種福祉関連事業、そして、ボランティアセンター機能の強化に取り組み、人々がともに手を取り合い、つながりの輪を広げ、絆をつむぐことができる地域づくりを推進してまいりますので、ごさいいますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、草津市ボランティア連絡協議会の益々の御発展と、皆様の御活躍、御多幸を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

2023年(令和5年)度 第37回
草津市ボランティア連絡協議会総会を終えて

第37回 総会報告

令和5年度第37回草津市ボランティア連絡協議会の総会が令和5年5月10日(水)に草津市立市民総合交流センター(キラリエ草津)で開催されました。総会にはご来賓として、草津市から橋川渉市長様、健康福祉部の永池孝志部長様、草津市社会福祉協議会の清水和廣会長様のご臨席のもと、「草津市ボランティア連絡協議会のより一層の活動の充実に向けて、共に手を取り合って、いきいきと楽しく活動する人たちの輪を広げ、地域づくりに取り組んでまいりたい。」とあたたかい激励の



お言葉を頂戴いたしました。

「誰もがこころ温かく支えあい住み続けたい福祉のまち くさつ」を基本理念として、ボランティアセンターの機能強化を掲げ、草津市ボランティア連絡協議会の活動の広がりとお実を求めて、総会が開催されました。

「明日への道しるべ」団体代表の粟津由紀夫様を議長に選出していただき、審議を進めてまいりました。

総会の内容は、
・令和4年度活動報告・会計決算報告・会計監査報告について
・令和5年度事業計画(案)・会計予算(案)について
・令和5年度の役員選任について
それぞれの項目について承認されました。

2023年度事業計画

5月10日(水)

令和5年度

第37回草津市ボランティア

連絡協議会 総会

9月26日(火)

会員研修会・交流会

(キラリエ草津6階 大会議室)

11月 中旬

1月 上旬

館外研修会
新年会員交流会

2023年度

役員体制

(任期 2023/4/1 ~ 2025/3/31)

◎会長 大脇 正美

(草津市災害ボランティア

コーディネーター会)

◎副会長 河瀬 克己

(青春歌声しゃぼん玉)

◎副会長 田淵 稔子(V・メロン)

◎会計 井上 修一

(桜プロジェクト われら活動隊)

◎監査 川那部光子

(のんたんひろつば)

◎監査 松田 由美

(草津点字グループ あゆみ会)

◎顧問 石本恵津子

(わくわく健康マージャン)

(退任)

副会長 丸林 浩二(草津塾)

副会長 伊庭 恵子

(手話サークル びわ湖)

顧問 岡本 庄司

(ケア体操 あおばな)

新しい登録団体の紹介 5団体

□アニマルライツセンター滋賀□

代表 駒井 桂子



地球温暖化に影響する工場畜産や畜産動物のアニマルウェルフェアについて、勉強会やパネル展を開催しています。

□花架拳□

代表 宇野 貴子



呼吸を意識しながらゆったりとした音楽に合わせて動く中国武術の一つ。健康な体作りをしながらイベントにも積極的に参加しています。

□くさつ笑いヨガ□

代表 玉置 広実



気分や面白さで笑うのではなく、笑いの呼吸をすることで、心と身体が元気になります。みんなで笑いを伝染させましょう！！

□錦城流錦城会□

代表 谷村 城嗣

三つの教場で稽古している錦城流詩吟を勉強するグループです。原則月三回が稽古日、三か月に一回の温習会、一年に一回の合同温習会を行い励んでいます。



外部活動では、草津文化祭や地区のイベントの出演、老人施設への訪問演奏等の活動を行っています。

□ことごと□

代表 服部 千香代



大正琴アンサンブルです。童謡・歌謡曲・演歌・洋楽など、対象の方に応じた曲目で、皆さんに歌っていただける企画もしています。

9月29日14:00〜キラリ工草津6階大会議室で総勢70名の方に参加をいただき会員交流会が実施されました。会員団体の活動の様子や成果をステージや体験コーナーで発表していただき理解と交流を深めていただくことが目的です。事前に発表団体を募集したところ予想を上回る10団体から応募がありました。

最終的に10の団体に参加・発表をいただきました。和洋楽器の演奏が3団体、歌声活動の実演と合唱指導が1団体、

2022年度連協会員交流会

青春歌声しゃぼん玉

会員交流会



びわこカルテット



響友会

草津市ボランティア連絡協議会
会員交流会



游糸会

草津市ボランティア連絡協議会
会員交流会



山田環境五三〇会

体、日本舞踊が1団体、お話朗読が1団体、環境美化活動紹介が1団体、手話サークルによる体験会が2団体、書画展示・体験が1団体でした。紙面の都合で詳細紹介できないのが残念ですが、個性的な団体が組み合わさってバ

ラエティに富んだ発表会構成として実施することができ参加者を大いに楽しませていただきました。今回発表できなかった団体や新規加入団体についても次回交流会以降に順次発表して行き交流を深めていきたいと思っております。このような発表と交流の場の提供を定例行事として定着させることがボランティア連絡協議会の大切な役割となるよう役員一同努めて参ります。

草津市社会福祉 功労者表彰

社会福祉法人草津市社会福祉協議会は、長年にわたり社会福祉に貢献、ご尽力され功績のあった団体、個人に対して社会福祉功労者として表彰式が令和四年十一月十九日（土）に、草津市役所二階大議室で開催されました。

当草津市ボランティア連絡協議会からは、三団体が表彰を受けました。



草津塾



出屋敷団地「あゆみの会」



のんたんひろっぱ

地域福祉活動の推進に

尽力された団体表彰者

○草津塾

○出屋敷団地「あゆみの会」

○のんたんひろっぱ



編集後記

令和五年年度の総会を終え、これからは徐々にはあるが以前と同じように人と接し、交流が図れるかと思うとワクワクしてきます。

人と接してもダメ、会話もダメとダメダメ尽くし。つまらない苦しい日々でした。

先日筆者の住む地域でも春祭りがとりおこなわれました。子供神輿もで少し元気が戻ってきた感じです。ただ子供神輿の組み立て方を知る人が少なくなり、苦労した一面もあったようです。

ボランティア連絡の会則に当会の主目的は、会員の交流を深める事によりお互いの資質の向上をはかり、ボランティア活動の拡充を計るとあります。

インフルエンザと同じ扱いになる新型コロナウイルス、そしてコロナの中で今より一層交流を深められ地域を支える大きな力になっていただきたいと願うものです。

二年後令和七年には県下で「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会」が行われ、草津市では水泳競技等が予定されています。

全国から選手やファンが来場されます。多くの人々との接する機会が増えボランティア連協の活躍の場面が沢山出てくると思われます。日頃の力を出し切り大会を盛り上げて行きましよう

発行

草津市ボランティア連絡協議会

〒525-0032

草津市大路二丁目一番三十五号

市民総合交流センター（キラリ工草津）4階

草津市社会福祉協議会内

TEL 077-562-0084

FAX 077-566-0377